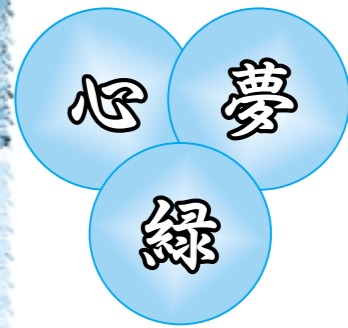


# 第4次所沢市総合計画 『後期基本計画』がスタートします！

21世紀初頭における本市の方向と望まれる将来像を掲げた「第4次所沢市総合計画・基本構想」に基づき、平成22年度を目標年次とする「後期基本計画(2010～2019)」を策定しました。

市はこの計画に基づき、基本構想に掲げた「まちづくりの目標」と「構想実現に向けた行政運営」の実現に向け、総合的・計画的に取り組んでいきます。

※問い合わせ 政策企画課(☎2998・9027・FAX2994・0706)



## みんなでつくる ところざわ ある生活文化都市をめざして まちづくりの目標』

## ゆとり・うるおい・活力 『7つのま』

1章 緑豊かな ゆとり・ うるおいの あまのまち	2章 安全・安心で 快適な住み よいまち	3章 豊かな心で 健康やかに 暮らせる 支え合いの まち	4章 いきいきと 学び 人・文化を はぐくむ まち	5章 にぎわいと 活力に 満ちた 魅力あふ れるまち	6章 みんなが 安心して 暮らせる ゆとりあ るまち	7章 人々が あふれ あつ 温かい まち
--------------------------------------	-------------------------------	---	--	---	---	-------------------------------------

### 8章 計画の推進に向けて

#### 複数の「章」にまたがる『横断的な主要課題』

- 新たな地域コミュニティの構築
- 総合的な子ども支援の推進
- ユニバーサルデザイン(注)の取り組み
- 地域からの地球温暖化対策の促進

◎7つのまちづくりの目標にそった主な施策(市長施政方針)については、広報ところざわ4月号で紹介しているほか、市ホームページ(アドレスは表紙参照)でもご覧になれます。

### 市長インタビュー

総合計画は『まちづくりの設計図』です

●後期基本計画策定の経緯と特長をお聞かせください。  
 高藤市長 前期基本計画の策定から5年の歳月が経過し、市政を取り巻く社会状況は大きく変化しています。そこで、これまでの計画の成果をふまえ、市民の皆さんに生活全般にわたって「安全・安心で、ゆとり・うるおい・活力ある暮らし」を実感していただくための本市の設計図として、平成22年度を目標年次とする後期基本計画を策定しました。この計画では、限られた財源の中で、今後5年間に重点的に取り組む事業を選択し、効果的・効率的な行政運営を目指しています。また、施策の目標を市民の皆さんと市が共有できるよう、まちづくりの指標と目標値を定め、進捗状況を毎年度評価する施策評価を導入しております。

●今後、どのようなまちづくりをお考えですか。  
 市長 私は市長就任以来、「あなたが主役のまちづくり」をモットーに市政運営に取り組んできました。こうした考え方が、基本構想に掲げた「みんなでつくる ところざわ」という協働のまちづくりにつながっております。今回の後期基本計画でも、多くの市民の皆さんの参画をいただきながら策定作業を進めてまいりましたが、こうした協働の取り組みの一つひとつ積み重ねていくことによって、信頼と相互理解に基づいた、より良いまちづくりが進展していくものと確信しております。今後も引き続き、「住んでみたい、住んで良かった、住み続けたい」と多くの方々に感じていただけるよう、計画の実現に向け、33万8千の市民の皆さんとともに、さまざまな課題の解決に積極的に取り組んでまいりますので、一層のご理解とご協力をお願いします。

#### ■施策の目標指標と目標値例

指標名	現状値(平成16年)	目標値(平成22年)
環境基本計画に掲げた目標の達成率	37.5%	100%
ごみの資源化率	21.3%	30%(平成21年)
朝の目覚めが快適な市民の割合	53.0%(平成17年)	60%以上
スポーツを楽しんでいる人の割合	61.0%(平成17年)	70%以上
学校給食への所産産野菜の使用率	61.5%	80%
指定避難場所(学校)の飲料水確保率	68.1%	100%
自主防犯パトロール活動に取り組む団体数	76団体	230団体
窓口サービスの満足度	67.4%(平成17年)	75%

◎上記の指標は、計画に掲げた中の一部です。

#### ★総合計画の構成★

●基本構想(平成13年度～22年度)  
 まちづくりを進めるための施策の基本方針を示します。

●後期基本計画(平成18年度～22年度)  
 基本構想を実現するための体系や方針、主要事業を示します。

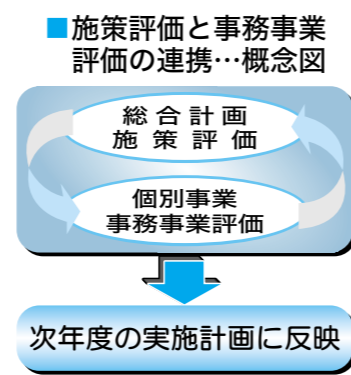
●実施計画(3年間で毎年度見直し)  
 基本計画で定めた施策や主要事業などの具体的な計画期間や方針を示します。

●計画の評価  
 後期基本計画では、各節ごとに「施策評価」を行い、目標の進捗状況を毎年度評価することにより、次年度の実施計画に反映させていただきます。  
 「施策評価」にあたっては、各節に掲げた「5年後の目標」を

●特長1  
 基本構想に掲げた「7つのまちづくりの目標」・「ならびに」計画の推進に向けて(行政運営)を8つの「章」で構成し、その下に43の「節」を施策として置き、

●特長2  
 基本構想に掲げた「21世紀の展望と課題」を踏まえ、複数の「章」にまたがる課題に総合的に取り組むため、「横断的な主要課題」を掲げました。  
 ●特長3  
 後期基本計画に掲げた43施策の進捗状況を定量的に把握するために、目標指標と目標値(施策の目標指標と目標値例参照)を設定しました。また、目標指標等を参考にしながら達成度を評価する「施策評価」を行います。  
 ◎同計画の冊子作成にあたっては、わかりやすい計画づくりの視点から、全体に簡潔で読みやすい記述に心がけました。

●市民アンケートの実施  
 今後、後期基本計画の進捗にあわせ、無作為抽出による市民アンケートの実施を予定しています。このアンケートは、後期基本計画の目標値の進捗管理に使用させていただきます。また、事業の実施や行政運営全般の参考にさせていただきます。

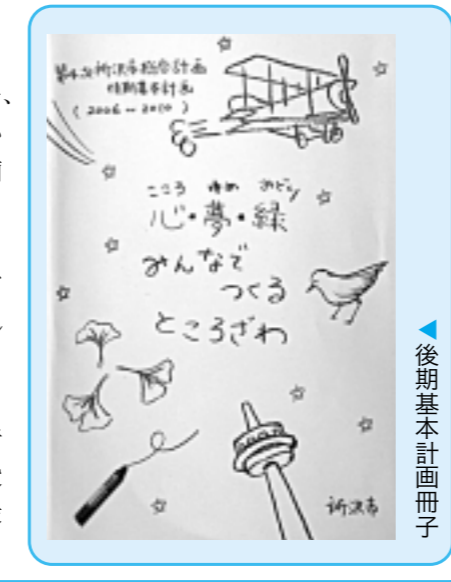


#### 計画の特長

◆誰にでもわかりやすい計画づくり  
 後期基本計画は、行政の運営目標を示すだけでなく、市民の皆さんと共通の「まちづくりの目標」を明確にするため、誰にでもわかりやすい「市民の目標」に立った計画づくりを目指しました。  
 ◆市民参加、職員参加による計画づくり  
 平成16年度からスタートした計画づくりは、77人の公募市民の皆さんが参画した「市民委員会」と職員75人で構成する「庁内策定部会」との協働による作業で、約10か月をかけて「素案」づくりなどに取り組み、市民・職員の参加のもと計画づくりを進めました。また、後期基本計画の冊子作成には、市民カメラマン(市が委嘱した市民の方に広報紙などへ掲載する写真撮影を依頼)が撮影した写真の掲載や、日本大学芸術学部の学生の方がデザインした表紙の採用など、多くの市民の皆さんの協力を得ることができました。  
 ◆評価と運動した計画づくり  
 市では、個々の事務事業ごとに、その有効性や効率性、進捗状況などを事務事業評価として公表しています。この事務事業評価の結果を活用して、施策ごとに主要事業の成果指標を設定するなど、計画と評価を連動させた計画づくりに取り組まれました。

#### 市ホームページなどでもご覧になれます

後期基本計画は、市役所3階・政策企画課、市役所1階・市政情報センター、各図書館、生涯学習センター、各公民館、各出張所、狭山ヶ丘コミュニティセンター、中富南コミュニティセンター、消費生活センター、所沢駅サービスコーナー、ラクク所沢、リサイクルふれあい館、教育センター、男女共同参画推進センターふらっとで閲覧することができます。また、市のホームページ(アドレスは表紙参照)でもご覧になれます。なお、後期基本計画の冊子は、有償頒布(1冊・1,200円)も行っています。ご希望の方は、市役所1階・市政情報センターでお求めください。



市民が主体になって  
 私は、生活の困りごとを解決し、暮らしを豊かにする活動をしているNPOの交流の場(NPOカフェ・ところざわ)の事務局をしています。この活動を通して、市民は行政サービスを受けるだけでなく、地域の課題を発掘し、自発的に解決していく主体でなければならないと思っています。所沢市総合計画に基づき、さまざまな場面で市民と行政がかかわると思いますが、会議や合意形成に至るまでの手法やルールも一緒に考えていくことが大切だと思います。



後期基本計画への期待  
 市民委員会などの熱い議論を経て、後期基本計画が完成しました。この計画には、「所沢はこうなりたい」という多くの市民の思いが込められています。そして、その思いの実現に向けた進捗状況をチェックする道具として、指標と目標値が設定されました。初めての仕組みですが、市民も市もこれを活用して、計画→実行→チェック→軌道修正→計画というサイクルを作り、協働の精神でまちづくりを進めていきたいと思います。